

責任あるパーム油調達方針 進捗レポート

2024年1月～6月



不二製油グループ本社株式会社
2025年3月

目次

編集方針.....	p.2
目指す姿.....	p.3
進捗状況.....	p.4-17
実績データ	p.5
1. トレーサビリティ	p.6
2. パルマジュ エディブル オイル のサプライチェーン改善活動(マレーシア).....	p.7
A. 「搾取ゼロ」実践のための Labor Transformation Program(LTP)の適用	
B. 自己評価ツール	
C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み	
3. RSPO 認証油の取り扱い	p.8
4. グリーバンスメカニズム.....	p.9
5. APT ランドスケープイニシアチブ(インドネシア/マレーシア)	p.10-14
6. 小規模農家支援(マレーシア).....	p.15-17
お知らせ.....	p.18

編集方針

本レポートについて

本レポートは、NDPE(No Deforestation, No Peatland Development and No Exploitation)達成に向け、原則 2024年1月から2024年6月に実施したパーム油サプライチェーンのトレーサビリティ確保とサプライチェーン改善活動の進捗を報告するものです。なお本レポートは、年次で報告するサステナビリティレポートの中間報告として作成しています。

責任あるパーム油調達方針推進のための活動

1. トレーサビリティ
2. パルマジュ エディブルオイルのサプライチェーン改善活動(マレーシア)
3. RSPO 認証油の取り扱い
4. グリーバンスメカニズム
5. Areas for Priority Transformation(APT)ランドスケープイニシアチブ(インドネシア/マレーシア)
6. 小規模農家支援(マレーシア)

目指す姿

不二製油グループ 責任あるパーム油調達方針（2016年3月策定）

当社グループのサプライチェーンにおけるすべてのパーム油生産に対する「森林破壊ゼロ」「泥炭地開発ゼロ」「搾取ゼロ」(NDPE)へのコミットメントを表明するものです。

<https://www.fujioilholdings.com/news/2016/icsFiles/afieldfile/2018/01/12/160310.pdf>

中長期 KPI

責任あるパーム油調達方針を強力に推進するため、当社グループの目指す姿のマイルストーンとして、2020年6月に中長期 KPI を設定しました。

中長期目標	KPI	
	2025	2030
	農園までのトレーサビリティ(TTP ^{※1}): 85% ^{※2}	TTP: 100%
労働環境改善プログラム(LTP ^{※3})適用率: 100% (パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) ^{※4} の全サプライヤー)	LTP 適用率: 100% (全直接サプライヤー)	

※1 TTP: traceability to plantation

※2 2020年6月時点の TTP の KPI は 75%です。コミットメントを保証するために上記の通り改訂しました。

※3 LTP: Labor Transformation Program

※4 パルマジュ エディブル オイル (マレーシア): 不二製油グループ本社の 100%子会社の油脂製造拠点

2024年6月までの主な進捗

- 2019年より100%の搾油工場までのトレーサビリティ(TTM^{※1})を達成しています。トレーサビリティ・プログラムは順調に進捗しており、農園までのトレーサビリティ(TTP)の実績は96%でした。
- 労働環境改善プログラム(LTP)の導入は順調に推移し、マレーシアにある精製会社パルマジュ エディブル オイルのサプライヤーの76%に適用されました。
- 当社グループの調達先の93%が森林破壊フリーであることが確認されました。パルマジュ エディブル オイルのサプライチェーンは99%森林破壊ゼロを達成しました。
- マレーシアの社会的企業 Wild Asia の小規模農家支援プログラム Wild Asia Group Scheme(WAGS)において、当社グループは2024年12月までに累計1,338農家の認証の取得または維持を支援し、95農家のBIO農法導入を支援しました。

※1 TTM: Traceability to mill

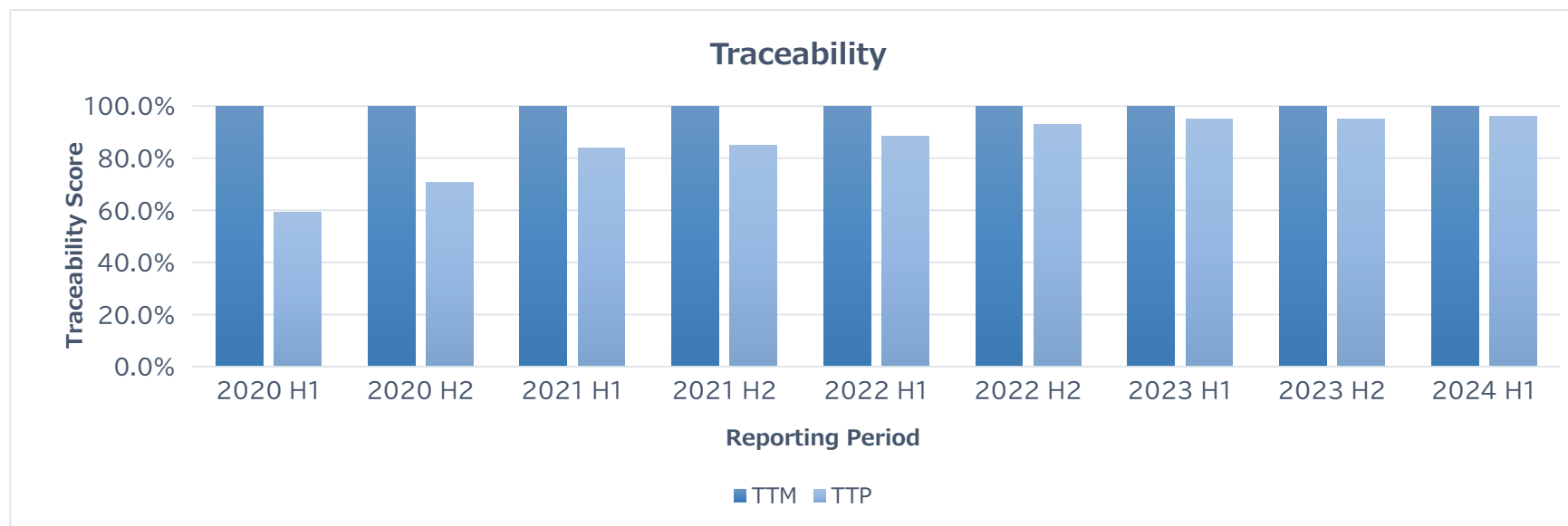
実績データ

主な ステークホルダー	活動目的		【目標年】 指標	実績			
				2021 (2021年1月~12月)	2022 (2022年1月~12月)	2023 (2023年1月~12月)	2024 (2024年1月~6月)
不二製油グループの サプライヤー、農園、 ディーラー、NGO	不二製油 グループ のパーム油 サプライチ ェーン	トレーサビリティの確保	【2025 / 2030】 TTM 100%/100%	100%	100%	100%	100%
			【2025 / 2030】 TTP 85% /100%	85%	93%	95%	96%
	環境・人権問題の特定	グリーンバンス登録件数※1	39 (2021年4月~ 2022年3月)	47 (2022年4月~ 2023年3月)	103 (2023年4月~ 2024年1月)	55 (2024年4月~ 2025年1月)	
			グリーンバンス累計登録件数 414 件 (2018年5月~2025年1月)				
パルマジュ エディブル オイルのサプライ ヤー、NGO	パルマジュ エディブル オイルのサ プライチエ ーン	サプライチェーンにお ける労働条件の改善	【2025年】 LTP 適用率 100% (パルマジュ エディブル オイルの 全サプライヤー)	27%	61%	74%	76%
		サプライヤーの責任 あるパーム油調達状況 の把握	自己評価質問票と行動計画 提出率	<直接サプライヤー> 搾油工場: 100% <間接サプライヤー> 搾油工場: 85% 農園: 24	<直接間接サプライヤー> 88%	<直接間接サプライヤー> 80%	<直接間接サプライヤー> 24 年下半期に実施。 サステナビリティレポート 2025で報告予定
		「森林破壊ゼロ」検証	森林破壊に関与していないこと が確認された購入量の割合	83%	99%	99%	99%
マレーシア・サバ州の 小規模農家、社会的 企業	RSPO 認証取得支援	RSPO 認証の取得または維持を 支援した累計小規模農家数	703 軒 (2016年1月~ 2022年5月)	908 軒 (2016年1月~ 2023年5月)	1,263 軒 (2016年1月~ 2023年12月)	1,338 軒 (2016年1月~ 2024年12月)	
	BIO 農法支援	BIO 農法に適合した 累計小規模農家数	20 軒 (2020年6月~ 2022年5月)	70 軒 (2020年6月~ 2023年5月)	81 軒 (2020年6月~ 2023年12月)	95 軒 (2020年6月~ 2024年12月)	

※1 グリーンバンス登録件数: 当社グループのグリーンバンス手順書に則り、当社グループのパーム油サプライチェーンに直接的または間接的に関係し、当社グループの責任あるパーム油調達方針に合致しないと判定されたグリーンバンスの件数。グリーンバンスの受付のタイミングにより、公表後に数変動する可能性があります。

1. トレーサビリティ

2024年1月から2024年6月までの期間において、引き続き TTM100%を維持しました。また、同期間の TTP は、2022年 93%、2023年 95%から 96%に向上しています。近年、自社のサプライチェーン上の搾油工場までのトレーサビリティや搾油工場リスト(ミルリスト)、グリーンバンスリストなどの情報公開を強化するパーム油取り扱い企業が増えています。パートナーと共に、トレーダーやサプライヤーと協力し、グローバルなトレーサビリティスコアを継続的に向上させる計画を進めています。また、TTP スコアを全事業部門で向上させることにも注力しています。



不二製油グループ全体のトレーサビリティスコア

2. パルマジュ エディブルのオイルサプライチェーン改善活動(マレーシア)

責任あるパーム油調達方針を実践する戦略として、マレーシアに所在する当社グループの一次精製会社であるパルマジュ エディブル オイルのサプライチェーン上のサプライヤーに対して、Aggregator Refinery Transformation 計画 (ART)を採用しています。2016 年以降、精製会社、搾油工場、農園など、サプライチェーンにおける様々なパートナーの参画が進んでいます。

サプライチェーンにおける優先的なニーズに焦点を当てた、多くの具体的な変革活動を中心に戦略を展開しています。本レポートでは、A. 「搾取ゼロ」実践のための Labor Transformation Program(LTP)の適用、B. 自己評価ツール、C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み の 3 つの主要な活動をご紹介します。

A. 「搾取ゼロ」実践のための Labor Transformation Program(LTP)の適用

このプログラムは、パルマジュ エディブル オイル のサプライヤーの労働環境改善に焦点を当て、サプライヤーに人権問題に取り組むためのきめ細かな支援を提供するものです。プログラムの適用範囲には、以下の 8 つの要素が含まれます。

- 1)雇用契約
- 2)賃金・労働時間
- 3)従業員の苦情処理
- 4)移動の自由
- 5)結社の自由
- 6)倫理的雇用
- 7)労働者の居住設備
- 8)安全衛生

2024 年 6 月現在、パルマジュ エディブル オイル(マレーシア)のサプライヤーの 76%がこのプログラムの対象となっています。サプライヤーへのエンゲージメントは、現場視察、書類審査、経営陣と従業員へのインタビューを通じて行われます。

改善活動の計画および報告書は、現場訪問後に毎回、サプライヤーと共に作成し共有されます。今後も、毎年実施している自己評価ツールにより、アクションプランの進捗状況を把握し、必要に応じて現場を訪問していく予定です。倫理的雇用は、エンゲージメント中に確認された最も一般的な問題です。サプライヤーの経営陣は、この問題を認識し、調査を行い、さらに深く議論する必要があるため、是正の過程にあります。今後も、サプライチェーン全体で LTP 実施率 100%を目標に、搾取ゼロを目指します。

https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

B. 自己評価ツール

2024 年のセルフアセスメントは 2024 年下半期に実施しました。その結果は 2025 年 9 月発行予定のサステナビリティレポート 2025 にて公開します。

https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み

2024 年 6 月現在では、パルマジュ エディブル オイルのサプライチェーンの 99%において森林破壊がないことを確認しています。産業界との連携に重点をおいて「森林破壊ゼロ」に向けたエンゲージメントを行っています。不二製油グループが支援するランドスケープイニシアチブの詳細については下記をご参照ください。

https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

3. RSPO 認証油の取り扱い

不二製油グループは、パーム油の持続可能な生産・消費体系を構築する趣旨に賛同し、2004 年から「持続可能なパーム油のための円卓会議(Roundtable on Sustainable Palm Oil: RSPO)」に加盟しています。

RSPO は、持続可能な認証パーム油(Certified Sustainable Palm Oil:CSPO)を生産する業界で最も広く認知されている国際的な認証制度です。当社グループは、RSPO の新ルールである「責任の共有原則」を実践し、RSPO 認証油の調達量を年々拡大しています。この背景には、United Plantations Berhad 社との合併会社であるユニフジ(マレーシア)の供給体制が整い EUDR 施行への対応で欧米市場の需要が増加したことが寄与しています。2024 年には、マレーシアのパーム油・パーム核の製造会社 Johor Plantations Group Berhad(マレーシアジョホール州)と持続可能なパーム油を原料とした高付加価値のパーム油製品を製造・販売する合併会社 JPG Fuji Sdn Bhd を設立しました。今後も RSPO 認証パーム油の調達量を増やすことで、より多くのお客さまのご要望にお応えしていきます。

* 進捗は www.rspo.org/ をご確認ください。

*当社グループの RSPO 調達油比率は、[サプライチェーンデータベース\(英語\)](#)で公開しています。

4. グリーバンスメカニズム

「責任あるパーム油調達方針」を実践するための重要な柱の一つとして、2018 年 5 月にグリーバンスメカニズムを構築しました。グリーバンスメカニズムは、人権や環境問題に関わらず、不二製油グループやサプライチェーンに対して何らかの苦情があった場合に、ステークホルダーや利害関係者が当社グループに苦情を申し立てる窓口になっています。当社グループは、提起された苦情の妥当性を確認した後、「責任あるパーム油調達方針」に基づいて、サプライヤーとのエンゲージメントを行い、適切な是正措置を講じます。

2020 年度からは、パーム油のサプライチェーンにおける森林破壊のモニタリングを支援する衛星通信会社の Earthqualizer と提携しています。このパートナーシップによって、インドネシアとマレーシアの当社グループのサプライチェーンで発生した森林破壊を特定し、モニタリング、対処、検証することが可能となり、サプライヤーと解決策を検討し、ステークホルダーとより効果的なコミュニケーションを図ることができるようになりました。

2022 年初頭から、NPO の Earthworm Foundation と協力してグリーバンス対応の改善にも取り組んでいます。この協力を通じて、当社グループはパーム油のサプライチェーンに関連する事例報告を受け、サプライヤーに事例を提起し、グリーバンスに確実に対処しています。今後も継続的に案件をモニタリングし、NDPE コミットメントの一環として、サプライチェーン内で提起された問題に対処していきます。

2025 年 1 月末までに累計 414 件のグリーバンスを登録し、その約 46%が解決済みです。

https://www.fujioilholdings.com/en/sustainability/grievance_mechanism/

5. APT ランドスケープイニシアチブ(インドネシア、アチェ)

KPIダッシュボード				
		2024年 KPI	2024年6月時点進捗	KPI進捗率(%)
ステークホルダー支援	2地区での共同行動計画実施	4	3	75%
	2地区でのNDPE/土地利用に関する規制/ 方針の更新	-	-	0%
森林保護	100% HCV/HCS ^{※1} と特定された 企業数	8	8	100%
	現地規制により保護されているHCV/HCS のヘクタール	41,857	24,762	60%
強靱(レジリエント)な農家	パーム油のGAP ^{※2} について 研修を受けた農家数	2,000	1,038	52%
	代替生計活動実施支援を受けた 農家のビジネスユニット数	4	2	50%
労働者と家族	企業や政府との活動を通じて 直接・間接的に協働する労働者数	4,000	2,928	100%
コミュニティの権利	参加型の地図製作と土地所有権調査(PM- LTS)に協働する村落数	22	8	36%
	紛争管理プロセスを通じて 管理される紛争数	8	5	63%

※1 HCV/HCS: High Conservation Value(高保護価値)/High Carbon Stock(高炭素貯蔵)

※2 GAP: Good Agricultural Practices(農業生産工程管理)

2018年より、重要な調達先であるインドネシアにおいて、森林破壊を減らし、持続可能な商品生産、保全、良好な社会・労働慣行の実行可能性を大規模に実証するために、Earthworm Foundation を通じてアチェ・タミアン地域のランドスケープイニシアチブに参画しています。

2021年に、このプログラムの対象地域は、インドネシアの最北端のアチェ州の約70%をカバーする約390万ヘクタールの広大な地域に拡大されました。この地域には12の県があり、その中心には世界で最も貴重な熱帯雨林の1つであるルセルエコシステムがあります。このプログラムは、パーム農園だけでなく、指定地域全体を改善するためのマルチステークホルダーによる協働として設計されました。

2024年6月時点の進捗は以下の通りです。

- Aceh Selatan で 8 つの村、Aceh Tenggara で 11 つの村レベルで新たに基本合意を定めました。これは参加型土地利用計画(PLUP)、森林保全、土地所有権問題、持続可能な農業と代替と生計方法を対象としています。
- 1社(PT Aceh Trumon Anugera Kita)が、サステナビリティ方針に NDPE を取り入れることにコミットしました。これにより、NDPE を採用している企業の総数は 8 社に増加しました。
- 森林の再生と保護のために 3 つの地域に根差した組織が形成されました。
- 5 つの村が、12,093.91 ヘクタールの保護地域を対象とする保護実施のための村条例(PERDES)を法務局に提出しました。
- アセスメント以外にも、HCV 分野の管理・モニタリングを行う企業を支援しています。PT Nafasindo は 0.66 ヘクタールの HCV 地域を積極的に修復しており、PT Laot Bangko は野生生物のモニタリングと HCV 保護に注力しています
- Aceh Singkil の 63 のパーム油農家は、作物の多様化に向けて GAP(農業生産工程管理)のトレーニングと支援を受けています。試験農地(チリ、ホウレンソウ、空心菜、キャベツ、インゲン豆)では、農家に苗木が提供されています。
- 63 の農家は、生計手段の多様化を図り経済的豊かさを向上させると同時に、収入を増やすためにプランテーションを拡大しようとする農家を抑制することで、間接的に森林保護を支援しています。
- 土地利用計画(PLUP)が完了した 9 村の参加型の地図製作・土地保有調査文書の検証を行いました。
- 2 つの植林地にまたがる PT RKMA の 34 の植林労働者は、労働者の健康と安全、児童労働の防止に関する社会化教育を受けました。
- PT Asdal は、労働者の安全の強化のために個人防護用具の提供し改善を行い、PT Laot Bangko は、労働条件の改善に伴い、96 人の日雇い労働者を正社員に転換しました。

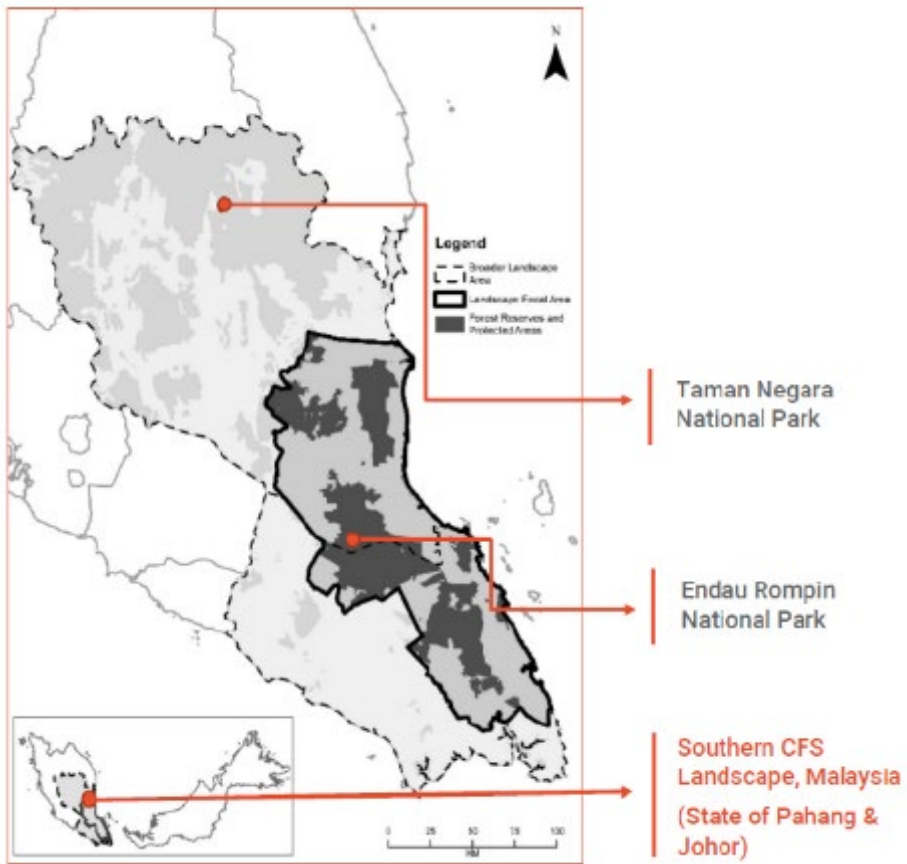
5. APT ランドスケープイニシアチブ(マレーシア半島、サザン・セントラル・フォレスト・スパイン: SCFS)

KPIダッシュボード				
		2024年 KPI	2024年6月時点進捗	KPI進捗率(%)
サプライチェーンの変革	農園までのトレーサビリティ100% 達成へ向けた搾油工場の進捗	90	36	40%
	社会環境コミットメントの進展に 取り組む搾油工場	17	24	100%
森林保護	残された森林地域の保護に繋がる エンゲージメントにより保護された ヘクタール	7,500	10,000	100%
	人間と象の共存プログラムにより保護された ヘクタール	5,000	8,000	100%
強靱(レジリエント)な農家	エンゲージメントを受けた小規模農家	625	235	30%
	小規模農家向けのキャパシティビルディング セッションの実施	-	-	0%
	地図を作成し、文書化し、正式な土地所有権 申請のために提出する先住民慣習地の ヘクタール	1,214	1,338	100%
	コミュニティマップ作成研修に 参加した村落	-	-	0%
労働者と家族	直接的・間接的に影響を受けた労働者	6,525	5,385	83%
	労働意識の向上と能力開発に 取り組む企業	43	29	67%

不二製油グループは、半島マレーシアでのサザン・セントラル・フォレスト・スパイン(SCFS)ランドスケープを重点変革エリアのひとつに掲げています。2022年初頭より、NDPE 基準への前進を目指し、Earthworm Foundation を通じて、同地域でのランドスケープの取り組みをさらに支援しています。SCFS ランドスケープとパーム油のサプライチェーンは相互に関連しており、ランドスケープ内の複数のステークホルダーと連携し、ディーラーの関与、労働慣行、人間と野生動物の共存を通じた TTP に関連した変革を推進しています。

2024年6月時点の進捗は以下の通りです。

- SCFS ランドスケープ内の搾油工場の合計 40%は、農園までのトレーサビリティ(TTP) 100%を達成しました。
- 残された森林地域の保護に繋がる森林破壊モニタリングとエンゲージメントにより 10,000ha が保護されました。
- Johor の保健・環境委員会委員長と Kota Tinggi Johor 郡事務局とのエンゲージメントにより、人間と象の共存プログラムについて州および郡レベルに話題を提示することに成功しました。
- 合計 235 人の小規模農家が、所得の多様化とキャパシティビルディングのセッションを通じて支援を受けました。
- 独立した小規模農家を対象とし MPOB(マレーシアパーム油庁)のフレームワークの導入に関する 5 つのセミナーを、PahangとJohorで開催し、それぞれ 202 名と、19 名が新たに参加しました。
- 農家の所得の多様化の一環として新たに 3 棟のマッシュルームハウスが建設されました。1 名の小規模農家が約 185kg の収穫に成功し、2,590 リンギットの売り上げが見込まれています。
- 労働教育セミナーには 11 社から参加者 30 名、労働シンポジウムプログラムには 14 社から 98 名が参加しました。
- 3 つの工場および関連施設における倫理的雇用のデューデリジェンスプログラムの実施について FELCRA 本部とのエンゲージメントが開始されました。



Sawit Intelligent Management System (SIMS)に関する MPOB とのステークホルダー・ミーティング



KPSA による象との対立管理

6. 小規模農家支援

2016年1月より、他企業と共にマレーシアの社会的企業である Wild Asia が主宰する小規模農家の支援組織 Wild Asia Group Scheme (WAGS) に参画しています。プロジェクトの詳細は [サステナビリティレポート 2024](#) をご覧ください。

認証取得プロジェクトでは、WAGS の現地チームがサバ州の WAGS 参加小規模農家の MSPO と RSPO の認証ステータス維持を支援しました。WAGS の現地チームは、小規模農家やディーラーに WAGS プログラムを導入するために、ラハード・デーツ、キナバタンガン、サンダカン、ベルラン、ナバワン、ケニンガウ、テノムなどで複数のアウトリーチ・セッションを実施し、800 を超える小規模農家が参加しました。2016 年以降、不二製油は合計 1,338 の小規模生産者を支援し、RSPO と MSPO の両方の基準における持続可能な認証の要件を満たすことを支援しています。

WAGS BIO プロジェクトでは、Wild Asia が設定した基準を満たす BIO 農場の総数は、2024 年 12 月現在、サバ州で 95 農場に達しています。2024 年度 1Q (2024 年 1 月～3 月) では、WAGS BIO チームが一連の BIO 認知ワークショップを開催し、認定された小規模農家、およびアウトリーチ・セッションに参加する農家に BIO Farming を紹介しました。

WAGS BIO Programme は、従来のアブラヤシ栽培を、化学物質を使用しない生物多様性の豊かな再生農業へ転換することを目指す Wild Asia 推進のイニシアチブです。2018 年の living soil プロジェクトの一環として開始されたこのプログラムでは、土壌の健全性、作物の回復力、および農民の生活改善に向け、ローテクで拡張可能な手法を導入しています。

WAGS BIO Farms は、土壌の健全性、生物多様性、収益性を高めるために、化学物質を使用しない再生農業の手法を取り入れた包括的で持続可能な農業システムを提唱しており、次の 3 つの段階から構成されています：

1. 化学合成投入材の代わりに有機投入材を使用することで、土壌有機物で自然の肥沃度を促進する。
2. パーム油・デカンタ・ケーキや空のフルーツ・バンチを含む家庭や工場から出る廃棄物を、生物活性肥料に変える。
3. 自然の微小生息地に適応し、土壌有機炭素を改良する生物多様性生態系を創出するために、バイオ炭の利用、多栽培、家畜との統合や間作といった先進的な技術を導入する。

このプログラムによって土壌微生物と植物の生育条件を向上させ、単位面積当りの収量を増加させます。さらに、このように生物多様性のある環境では、複数の種が同時に同じ場所で栽培されるポリカルチャーが繁栄し、農家に副収入をもたらす、彼らの家族の食料安全と健康栄養状態を改善します。WAGS BIO Farms は、土地を再生するだけでなく、持続可能な生計手段を提供し、営農を利益のあるものにし、環境的にも健全なものにします。

Wild Asia との第 3 期のプロジェクトパートナーシップ(2023 年 7 月-2025 年 6 月)では、認証取得支援を継続するとともに、WAGS BIO 農家での再生農法の実施をさらに支援することに注力していきます。



持続可能な農業プログラムについての洞察を共有するセッションを実施



農家に土壌状況を説明する
Reza Azmi 博士(Wild Asia 創設者)



Wild Asia の農家が有機性資源を増やすために、ミニ・バイオ・トランスフォーメーション・ユニットを設立するよう指導



Wild Asia が農家を訪問し、状況をモニタリング

お知らせ

今後の進捗報告予定:

- ・2025年度上期:サステナビリティレポート 2025発行
- ・2025年度下期:責任あるパーム油調達方針進捗レポート発行